



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社クオルテック

上場取引所 東

コード番号 9165 URL <https://www.qualtec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 友宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部部长 (氏名) 大野 和彦 TEL 072 (226) 7175

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の業績 (2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	980	9.0	82	131.0	82	134.0	56	170.2
2025年6月期第1四半期	899	10.7	35	△24.1	35	9.8	20	△22.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	23.84	—
2025年6月期第1四半期	8.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	4,257	3,246	76.2
2025年6月期	4,346	3,277	75.4

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 3,246百万円 2025年6月期 3,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2026年6月期	—				
2026年6月期 (予想)		0.00	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	9.3	405	5.4	404	5.2	271	23.4	115.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	2,350,000株	2025年6月期	2,350,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	一株	2025年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	2,350,000株	2025年6月期1Q	2,350,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は、本日（2025年11月14日）、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きもみられますが、総じてみれば、緩やかに成長していると考えられます。消費は消費者マインドに弱さがみられるものの雇用者所得の改善を背景に底堅い動きを見せております。もっとも、中国経済の先行き懸念やウクライナ・中東の地政学的リスク、米国関税の政策運営等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

一方、当社を取り巻く環境は、主要顧客が属する自動車業界においては、電動化推進の動きが活発になっております。環境問題に関する脱炭素化への取組も加速しており、特に電力消費削減技術としてパワー半導体の需要が高まっております。パワー半導体は自動車やエネルギー産業での使用が拡大しており、今後も開発競争が続くと見ております。

このような状況下で、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高980,397千円（前年同期比9.0%増）営業利益82,596千円（同131.0%増）、経常利益82,669千円（同134.0%増）、四半期純利益56,014千円（同170.2%増）となりました。売上高は9億円を超え、各利益も同第1四半期比較で、ともに上場来最高額を更新いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（信頼性評価事業）

信頼性評価事業では、環境試験において振動や塩水噴霧など、各試験の受注が好調に推移したことが業績を牽引しました。断面研磨も主要顧客からの受注が順調に推移したことが業績に寄与しました。

売上原価は、前期に引き続き持続的な成長の重要な要因となる新規設備投資や新規採用、賃上げを含む人的投資を積極的に進めたことにより増加したものの、売上増加により営業利益は増加しました。この結果、売上高845,395千円（前年同期比7.1%増）、営業利益258,630千円（同21.4%増）となりました。

（微細加工事業）

微細加工事業では、レーザ加工において量産品加工の需要が回復したことや、試作品加工でも高付加価値案件を堅調に受注獲得出来たことで売上高が大きく伸長しました。また、表面処理技術においては、多能工化への人材育成が奏功し主要顧客からの受注キャパシティが増加したことが業績に寄与しました。

売上原価は、前期に引き続き持続的な成長の重要な要因となる賃上げを含む人的投資を積極的に進めたことにより増加したものの、売上増加により営業利益は増加しました。この結果、売上高129,764千円（前年同期比35.0%増）、営業利益63,231千円（同67.0%増）となりました。

（その他事業）

その他事業では、バイオにおいて厚生労働省案件である医療用消耗品の信頼性試験が完了したことにより、売上高が縮小しました。この結果、売上高5,236千円（前年同期比63.3%減）、営業損失3,456千円（前年同期は営業損失4,127千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は4,257,456千円となり、前事業年度末に比べ88,625千円減少いたしました。

流動資産は2,494,663千円となり、前事業年度末に比べ28,321千円減少いたしました。これは主に「仕掛品」60,546千円増加、「電子記録債権」14,985千円増加、「原材料及び貯蔵品」10,660千円増加及び「売掛金」131,897千円減少によるものであります。固定資産は1,762,793千円となり、前事業年度末に比べ60,303千円減少いたしました。これは主に減価償却等に伴う「有形固定資産」42,592千円減少及び税効果会計上の一時差異解消等に伴う「投資その他の資産」15,517千円減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は1,011,305千円となり、前事業年度末に比べ57,689千円減少いたしました。

流動負債は587,650千円となり、前事業年度末に比べ78,282千円減少いたしました。これは主に納付等に伴う「未払法人税等」37,931千円減少、「役員賞与引当金」9,200千円減少及び「1年内返済予定の長期借入金」7,500千円減少によるものであります。固定負債は423,655千円となり、前事業年度末に比べ20,592千円増加いたしました。これは主に固定負債「その他」に含まれるリース債務17,722千円増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は3,246,151千円となり、前事業年度末に比べ30,935千円減少いたしました。

これは主に「四半期純利益」56,014千円の計上及び剰余金の配当86,950千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想については、2025年8月8日公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535,006	1,530,092
受取手形	3,554	2,080
電子記録債権	69,305	84,291
売掛金	728,473	596,575
仕掛品	103,312	163,858
原材料及び貯蔵品	22,901	33,562
その他	69,447	96,618
貸倒引当金	△9,015	△12,415
流動資産合計	2,522,985	2,494,663
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	640,807	629,810
工具、器具及び備品（純額）	494,578	461,515
その他（純額）	428,229	429,696
有形固定資産合計	1,563,615	1,521,023
無形固定資産	27,120	24,927
投資その他の資産	232,360	216,842
固定資産合計	1,823,096	1,762,793
資産合計	4,346,082	4,257,456
負債の部		
流動負債		
買掛金	233	6,918
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	17,500	10,000
未払法人税等	56,858	18,927
賞与引当金	25,181	64,587
役員賞与引当金	9,200	—
その他	436,959	367,217
流動負債合計	665,933	587,650
固定負債		
退職給付引当金	158,333	162,657
役員退職慰労引当金	18,072	16,125
資産除去債務	117,878	118,035
その他	108,778	126,837
固定負債合計	403,062	423,655
負債合計	1,068,995	1,011,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	392,100	392,100
資本剰余金	1,066,550	1,066,550
利益剰余金	1,818,436	1,787,501
株主資本合計	3,277,086	3,246,151
純資産合計	3,277,086	3,246,151
負債純資産合計	4,346,082	4,257,456

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	899,536	980,397
売上原価	651,429	660,879
売上総利益	248,106	319,517
販売費及び一般管理費	212,352	236,921
営業利益	35,754	82,596
営業外収益		
受取利息	6	69
物品売却益	—	770
その他	1	103
営業外収益合計	7	943
営業外費用		
支払利息	418	801
その他	13	67
営業外費用合計	431	869
経常利益	35,330	82,669
特別損失		
減損損失	—	1,568
特別損失合計	—	1,568
税引前四半期純利益	35,330	81,101
法人税、住民税及び事業税	7,127	12,343
法人税等調整額	7,473	12,743
法人税等合計	14,601	25,086
四半期純利益	20,729	56,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	69,415千円	106,086千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	789,142	96,107	885,250	14,285	899,536	—	899,536
外部顧客への売上高	789,142	96,107	885,250	14,285	899,536	—	899,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	789,142	96,107	885,250	14,285	899,536	—	899,536
セグメント損益	213,041	37,865	250,906	△4,127	246,779	△211,024	35,754

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント損益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、組織シナジーの最大化を目的とした2024年7月1日付の組織変更に伴い、従来「その他」に区分していた表面処理技術を「微細加工事業」に変更しております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	845,395	129,764	975,160	5,236	980,397	—	980,397
外部顧客への売上高	845,395	129,764	975,160	5,236	980,397	—	980,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	845,395	129,764	975,160	5,236	980,397	—	980,397
セグメント損益	258,630	63,231	321,862	△3,456	318,405	△235,809	82,596

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント損益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	信頼性評価事業	微細加工事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	1,568	—	1,568

(注) 「その他」の金額は、バイオに係る金額であります。